

「お香とお茶」を楽しもう!

さあ、チャレンジしよう!

かおりを「聞く」って、ふしぎだね。

かおりを「かぐ」ことを、香道の世界では「聞く」といいます。

「きく」という言葉に香道の魅力のすべてが、秘められているとのこと。

「きく」とはということなのか。

全国にたくさんのお弟子さんを持っていた

「志野流香道」の始祖・志野宗信大先生に、

亡くなってから500年も経つけれど、聞いてみました。

Q お生まれは、どちらですか?

A 奥州白河(福島県)信夫という里。



ええ、しらかわの人なんだ。
じまんしたいよね!

Q どうして「香道」を始めたのですか?

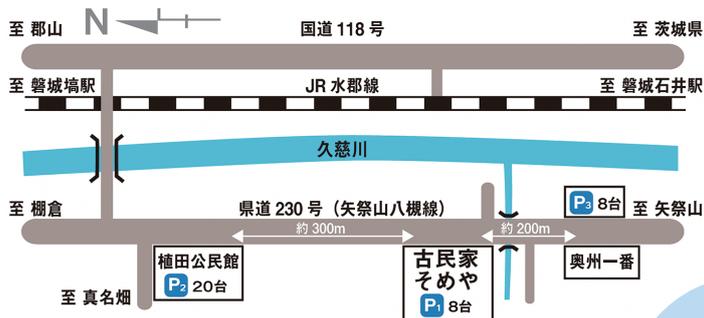
A 白河から京都に行き、公家や文化人たちとたくさん遊んでは、勉強をしていた。そのような時、将軍・足利義政公が大切にしているたくさんのかぐわしい香木を分類するよう言われ、それが「香」をきわめようと考えたきっかけかも知れんな。



大切なかおりって!?
「聞く」しないとね…。

❖開催日時 10月1日(日) 午後2時~午後3時30分(終了予定)

❖場所 塙町「江戸期の古民家そめや」
<〒963-5343 福島県東白川郡塙町植田^{ゲチウチ}地下内1番地>



❖定員 18名(親子で7組程度/中・高生は単独可能) *先着順で締め切り。

❖会費 1人500円(お抹茶でお菓子をいただきます)。

❖持ち物 白い靴下

❖申込方法 メールまたは、Fax *詳しくは裏面参照。

メール: niwa@niwatoco.jp Fax:0247-57-5911

【講師】志野流香道白河教場

【主催】一般社団法人ニワトコ(水郡線沿線古民家群活性化委員会)

保護者の方たちへ

香道は精神世界の芸術 志野宗信没後500年に「香」を聞く

『日本書紀』によると、飛鳥時代に香木が淡路島に漂着したことから、日本の香木文化が始まったと言われています。
香木は、仏教という宗教儀礼の中で重用され、やがて平安時代、遣唐使の廃止に伴い、中国とは別の日本独自の「香の道」の歩みが始まります。
香は和歌とともに、貴族たちが自らを表現する重要な手段となりました。
とはいえ、現代の私たちにはお稽古事の一つでしかありません。
そんな折、日本の二大香道流派の「志野流」の始祖・志野宗信が白河の出身と知りました。
精神世界の芸術と言われる「志野流香道」の一端を、覗いてみたいと思いませんか。子どもたちと一緒に。

【お申込み方法】

メールまたは、Faxでお申し込みください。

一般社団法人ニワトコ

(福島県東白川郡棚倉町大字下山本字左近田2/近津小学校から徒歩2分)

Mail : niwa@niwatoco.jp Fax:0247-57-5911

【お問合せ】

Tel : 090-1421-8448 (ニワトコ事務局)

* 留守電の場合は、折り返しの電話とさせていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】本活動に関して参加の方々への連絡にのみ、使用します。

・添付の申し込み表に記載してお申し込みください。

小学生、お子様と同伴の保護者の方

参加者ご氏名	(ふりがな)	男・女	歳
学校名・学年	小・中・高	年	生年月日 年 月 日
保護者ご氏名	お子様と共に参加 参加者の方：生年月日	有・無	年 月 日
ご住所 電話番号	〒 -	緊急連絡先	- -